

令和3年度第10回教育研究評議会議事要旨

日時 令和4年1月21日（金） 16時05分～17時04分
場所 Web会議
出席者 学長，渡理事，山下理事，寺本理事，山崎理事，檜澤人文・社会科学域長，末岡医学域長，豊田自然科学域長，板橋教育学系長，吉住芸術学系長，山下医療系長，大島農学系長，岩本全学教育機構長，石丸附属図書館長，堀総合情報基盤センター長，甲斐評議員，田中評議員，中村評議員，出原評議員，佐藤評議員，一色評議員
欠席者 なし
陪席者 佐々木監事

○ 審議事項

1. 審議事項

2. 審議事項

3. 審議事項

4. 佐賀大学入学者選抜規則の一部改正について

山下理事より，入学者選抜における合否判定処理システム運用業務をアドミッションセンターが担当することに伴い，「合否判定処理システム専門委員会」が不要となることを受け，佐賀大学入学者選抜規則等の改正を行う旨，説明があり，審議の結果，了承された。

5. 「国立大学法人佐賀大学の人事基本方針」の制定及び「国立大学法人佐賀大学教員人事の方針」の全部改正について

渡理事より，本学における適切な年齢構成の実現，ダイバーシティの確保等を含めた総合的な人事方針の策定のため，「国立大学法人佐賀大学の人事基本方針」の新規制定及び「国立大学法人佐賀大学教員人事の方針」の全部改正を行う旨，人事基本方針（案）及び教員人事の方針（案）の概要等について，説明があり，審議の結果，了承された。

6. 放射性同位元素等安全管理規則の一部改正について

寺本理事より，令和3年3月に本庄・鍋島両キャンパスに設置していたR I 実験室等を鍋島キャンパスのR I 実験施設に集約・統合したことに伴い，令和3年11月15日付で，本庄キャンパスのR I 実験室の廃止が決定したため，本学の放射性同位元素等安全管理規則の一部改正を行う旨，説明があり，審議の結果，了承された。

7. 学術交流協定（大学間協定）の更新について

寺本理事より，平成29年3月に締結したドイツのブルグ・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレとの大学間学術交流協定について，令和4年3月に期限を迎えることから，令和4年3月から5年間の協定更新を行う旨，説明があり，審議の結果，了承された。

8. 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワークへの参画について
石丸附属図書館長より、文部科学省「大規模学術フロンティア促進事業」の一環で、大学共同利用機関法人人間文化教育機構国文学研究資料館から、本学の所蔵する貴重書のうち日本の古典籍（約800点）について、本事業への協力要請があったことを受け、本学として、令和4年度から令和5年度の2年間、本事業に参画する旨、説明があり、審議の結果、了承された。
 9. その他
特になし。
- 報告事項
1. 全学委員会等の審議状況報告について
渡理事より、令和3年度第8回拡大役員懇談会及び令和3年度第4回質保証統括本部会議（臨時）について、報告があった。
次いで、山下理事より、令和3年度第10回学生委員会について、報告があった。
次いで、寺本理事より、令和3年度第8回総合研究戦略会議について報告があり、また、令和4年度創発的研究支援事業の応募が開始されたことから、各部局長においては、特に若手研究者への周知を行っていただき、積極的な申請をお願いしたい旨の発言があった。
 2. ダイバーシティの観点から取り組む教員採用ハンドブックについて
渡理事及び荒木ダイバーシティ推進室副室長より、文部科学省によるダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）事業の一環として、本ハンドブックを作成した旨、本ハンドブックの概要等について、説明があった。
 3. 令和3年度「公正な研究活動の推進に関する講演会」の開催について
寺本理事より、研究に対する高い向上心を持ってもらい、研究不正を未然に防ぐことを目的として、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の理事長である三島良直氏を招聘し、講演会を行う旨、説明があった。
 4. 令和3年度佐賀大学学位記授与式及び令和4年度佐賀大学入学式の挙行について
総務部長より、本件について、新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて開催方法を決定するため、本学の活動制限指針に沿った開催方針をまとめた旨、今後、本方針に従って、開催方法を決定する旨、説明があった。
 5. 学長補佐の指名について
総務部長より、令和4年1月1日付で任期を更新した学長補佐2名について、紹介があった。
 6. その他
特になし。

以上